

昭和43年4月・5月 中座
主な配役

昼の部

「さくらんぼ」

本屋の客(奥野広志・藤田里美・稲森洋子・井原信子・宗政日出雄・言美健市・金田稔) 同立見(西村一文) 店員一平(八木五文楽) 仕入れの男吉田(沢田光生) お梅(花村美津子) 吉田の娘末子(宇田京子) 藤田徳造(長谷川稔) 早耳の芳村(喜多康樹) 客市村(中村魁幸) お梅の娘由美子(大路美也子) 友人初江(松上美代子) 同友子(若間逸子) 同利子(寺前浅子) 八百屋のお糸(石島康代) お糸の娘君子(水谷加代) 近所の女民子(藤枝登喜子) 近所の人A(二階堂博) 同B(脇田高吉) 同C(今川正) 同D(山城隆幸) 同川野(槇宏樹) 近所の人(池平勝・山田光夫・井上弘子・熊取谷幸子) 医者古川(伴心平) 古川の助手(杉岡美代) ヒバリ電機社長山川(三井康弘) 山川の息子一郎(中川雅夫)

「淡路の女」

近所の人(言美健市・金田稔・稲森洋子・熊取谷幸子・井原信子・若間逸子) 宿の泊り客(井上弘子・奥野広志・寺前浅子・杉岡美代・宗政日出雄) 救急車の人(池平勝・脇田高吉・山田光夫・今川正) 番頭石田(八木五文楽) 女中頭お染(花村美津子) 女中お光(宇田京子) 近所の女中松子(大路美也子) 近所の番頭佐川(喜多康樹) 錦松館主人徳三(東靖夫) 徳三の妻さかえ(石島康代) 警官間口(金乃成樹) 新聞記者 A(西村一文) 同 B(二階堂博) 女中お里(真野和子) 警官田西(槇宏樹) 協会の人松井(中村魁幸) 板前竹内安吉(小島秀哉) 芹沢しの(酒井光子) 若い男(中川雅夫) 若い女(水谷加代) 鶴竹団寿(花和幸助) 団寿の妻美佐(石河薫) 安吉の妻とも子(大津十詩子) マッサージ師徳太郎(淀川曠平) 徳三の娘令子(四条栄美) しのの父万造(千葉蝶三朗) しのの良人房吉(長谷川稔)

「銀とプラチナ」

八百屋八百留(沢田光生) 買い物の主婦光子(水谷香津代) 同民江(御陵多栄子) 飯屋の親父久造(三井康弘) 労務者栗田(西村一文) 同谷川(村田幸三) 労務者(山城隆幸・宗政日出雄・言美健市・金田稔) 手配師町田(槇宏樹) 子を背おうた女よね(白川淳子) 飯屋女店員節子(藤枝登喜子) 労務風の仙吉(金乃成樹) 同源太(松本秀太郎) 夜明けのスモッグ(藤山寛美) 広島健次(小島秀哉) 巡査山本(守田秀郎) 福田健作(伴心平) 支配

人林(小島慶四郎) 洋服屋出淵(淀川曠平) 女中お仲(曾我廼家鶴蝶) 同
おきぬ(松上美代子) 電気工事人(高田亘)

「浮世巷談 浪花の鯉の物語」

公卿侍倉石鉄之進(伴心平) 同琴尾正左衛門(守田秀郎) 同川上十三(三
井康弘) かつぎ魚屋半吉(金乃成樹) 六部(榎宏樹) 按摩鳥の市(沢田光
生) 染物屋染新(中川雅夫) 下足番安造(尾形桃太郎) 板前三吉(喜多康
樹) 女将お芳(石河薫) 魚屋勘助(藤山寛美) 芸者染八(滝見すが子) 箱
や藤吉(山田光夫) 忠兵衛(淀川曠平) 芸者梅川(酒井光子) 太鼓持ちょん
平(高田亘) 用人佐藤栄五郎(東靖夫) 下役木村靖四郎(中村魁幸) 番頭
庄助(小島慶四郎) 川瀬屋八右衛門(花和幸助) 近所ぜお千代(真野和子)
勘助の妹おいそ(四条栄美) お千代の母おくめ(花村美津子) 勘助女房おつ
る(曾我廼家鶴蝶) おつるの父幸助(千葉蝶三朗) うどん屋当り屋(西村一文)
流し芸人(村田幸三) 川瀬屋次女お七(大津十詩子) 仲居お初(白川淳子)
同お松(松上美代子) 同お竹(杉岡美代) お運び少女おうめ(若間逸子) 芸
者里勇(大路美也子) 同糸次(藤枝由美江) 同小まん(御陵多栄子) 同心
大沢平七(松本秀太郎) 捕手(二階堂博・脇田高吉・今川正・池平勝・山城隆
幸・言美健市・金田稔・奥野広志) 川瀬屋長女おむつ(八木五文楽) 町の人
(宗政日出雄) 町の娘(宇田京子・藤田里美・寺前浅子・稲森洋子・井原信子・
熊取谷幸子) その他町の人多ぜい

夜の部

「初任給¥8000000」

重役西本(高田亘) 部長村田(三井康弘) 社員戸川(脇田高吉) 同下田(西
村一文) お手伝いお清(若間逸子) 運転手南(今川正) 社長向出勇太郎
(長谷川稔) 課長藤田(村田幸三) 女秘書山口(宇田京子) お手伝いお芳
(松上美代子) 向出の令嬢槇子(真野和子) 槇子の友人友子(寺前浅子)
同君子(杉岡美代) 同敏子(稲森洋子) 同待子(熊取谷幸子) 同光子(井原
信子) 宗田良平(淀川曠平) 婚約者明彦(中村魁幸) TVの修理人(喜多康
樹) 良平の恋人敬子(御陵多栄子) 向出夫人和代(白川淳子)

「失恋の女神」

参詣の男(脇田高吉) 同女 A(井上弘子) 同 B(杉岡美代) 町の隠居山下
(松本秀太郎) うなぎ屋主人石間(長谷川稔) その妻おさき(曾我廼家鶴蝶)
雇婆さんおたか(花村美津子) 神主磯貝権六(東靖夫) 宮詣りの母(石島康

代) その付添いの娘(寺前浅子) うなぎ屋女中お雪(藤枝登喜子) 磯貝の息子鶴助(藤山寛美) 同二女静子(水谷加代) 権六の弟莊助(花和幸助) 助役木下(小島慶四郎) 磯貝の長女啓子(大津十詩子) 町の青年吉井(金乃成樹) 同国井(榎宏樹) 同大久保(二階堂博) 同小村(今川正) 町の娘秋子(御陵多栄子) 同露子(白川淳子) 同秀子(宇田京子) 町役場の人鴨下(八木五文楽) 町役場の助役山田(沢田光生) 助手田中(西村一文)

「船場に月が」

姉初代(酒井光子) 同業者伊島(伴心平) たばこ商松田(長谷川稔) 伯父平井千太郎(千葉蝶三朗) 客三輪(守田秀郎) 同瀬戸(中村魁幸) 妻はる子(大路美也子) 店員水野良吉(藤山寛美) 良吉の姉きよ子(滝見すが子) 栄井の長男幸一(小島秀哉) 吉野ずし春本(小島慶四郎) 手紙を入れに来る女(水谷加代) 自転車の男(中川雅夫) 妹珠江(四条栄美) 宝栄堂主栄井(東靖夫) バーテン森下(淀川曠平) 千太郎妻まさ子(石河薫) 珠江の友千加子(真野和子) 通行の女店員1(若間逸子) 同2(井上弘子) 同男店員(榎宏樹) 通行の人(杉上美代子・寺前浅子・杉岡美代・池平勝・山田光夫・山城隆幸・金田稔)

「卯月夢 狸御殿」

娘狸おはん(水谷加代) 同おとせ(若間逸子) 同おろく(藤枝登喜子) 同おせん(松上美代子) 同おきん(寺前浅子) 同おとし(稲森洋子) 泥右エ門女房おふく(曾我廼家鶴蝶) おとせの兄狸松(沢田光生) 御殿侍狸六郎(守田秀郎) 同狸左衛門(尾形桃太郎) 同狸五郎(中村魁幸) 同狸丸(喜多康樹) おしろ(四条栄美) 酒屋黒松(金乃成樹) 河童のブク助・狸吉郎(藤山寛美) 雨の小太郎(小島秀哉) 村の男狸(池平勝・奥野広志・言美健市・宗政日出雄・金田稔) 村の娘狸(宇田京子・井上弘子・藤田里美・井原信子・熊取谷幸子) 物売りからくり屋(真野和子) 同風船屋(榎宏樹) 同人形屋(二階堂博) 村の男狸甲(村田幸三) 禅僧学蓮(淀川曠平) 弟子覚坊(中川雅夫) 家老狸十郎(松本秀太郎) 腰元尾花(御陵多栄子) 同桔梗(杉岡美代) 占師玄仙(伴心平) 弟子順蓉(八木五文楽) 同仙水(三井康弘) ムジナの源(小島慶四郎) 腰元狸月(白川淳子) おふくの子おくろ(大津十詩子) 泥右衛門(花和幸助) ブク助の父泡兵衛(千葉蝶三朗) 泡兵衛の女房しぶき(花村美津子) 森の精(大路美也子) 老女狸路(石島康代) 御典医桂漢(高田亘) 母君八重の方(石河薫) 玄仙の手下(西村一文・脇田高吉・山田光夫・今川正・山城隆幸) その他腰元・物売り・手下多ぜい